

2025
VOL.126
September 9

Cheers!

なでしこチアーズ

入院時の不安を解消する 切れ目のない支援

Cover& Interview — 入退院支援室



Contents

老朽化が進む救急車の更新を目指して
クラウドファンディング目標額達成！

医療と介護の市民講座開催のご案内
もしもの時のこと、

自分らしく生きるために

LINEアプリでぜひご利用ください

診察待ち状況をスマホにお知らせします

口腔管理センターよりお知らせ

公認心理師高山先生より

「休息」について考える

看護部より

子ども病院見学会夏休みレポート

今月のレシピれんこんしんじょ

登録医訪問

青山みみ・はな・のどクリニック(西区)

職場訪問 病歴室

入院時の不安を解消する 切れ目のない支援

当院の地域連携福祉センター内に
2021年に設置された「入退院支援室」。
入院が決まった患者さんに対し
看護師が中心となり
入院前の身体状態や服用中の薬剤、
アレルギーの有無、食事状況などの基本情報を
1階説明室にて確認することで
入院生活を安心して送っていただき、
退院後も継続して
適切な医療を受けられるように支援しています。
主な業務や今後の展望について
入退院支援室のお二人にお話を伺いました。



- ① 説明室は正面玄関、インフォメーションの向かい側「41」番。
- ② 入院時の説明で使用する診療計画表や各種同意書類。
- ③ 患者さんご家族をサポートする地域連携福祉センター内にある入退院支援室。主に情報収集などを行い、カンファレンスに向けた資料作成を行う。





ひと月で450～500名が利用する説明室。薬や食事の注意点などを分かりやすく説明することで入院前の不安を解消しています。

入退院支援室より
インタビュー参加メンバー

看護師長 **高澤 彩子**
TAKASAWA Ayako
看護師 **稲田 鎮加**
INADA Shizuka

患者さんの理解を深め
スムーズな治療を目指す

——入退院支援室とは？

高澤 彩子 看護師長 当院では2014年よりPFMピーエム（ペーシエント・フロー・マネジメント）を導入し、入院が決まった患者さんに入院前からお話を伺う体制を整えてきました。従来は入院時に行っていたその業務を、あらかじめ入院前に実施することで、入院後、患者さんにスムーズに治療を受けていただけるようにしています。2021年に組織改編により「入退院支援室」を設置し、患者

さんが安心して入院生活を送り、退院後も療養生活を円滑に続けられるよう、支援する役割を担っています。

入退院支援室があるB棟2階の地域連携福祉センターには、福祉相談や治療と仕事の両立支援を担う「医療福祉相談室」、地域の医療機関との紹介・逆紹介を担う調整部門「地域医療連携室」、そして、済生会の訪問看護ステーションがあり、これらの部署と連携を図りながら、チーム医療への支援を目的に始動しました。

当院の入退院支援業務として、予定入院の患者さんや、そのご家族などに向けた入院時支援を説明室（右写真①）にて行っています。

——どのような職種の方が関わっていますか？

高澤 専従看護師1名と、ほか看護師6～8名、2024年秋からは事務員3名も加わりました。 入院後の予定や、手術に関わる必要な持ち物について説明するスタッフも1名配置しています。また、薬剤師や管理栄養士、医療ソーシャルワーカーも深く関わっています。

入院までのおおまかな流れ

外来

入院予定決定



説明室での入退院支援

パンフレットを用いた入院説明

- 限度額の申請
- 個室希望の有無

入退院に関する説明

- 状態の聞き取り
- 退院に向けての支援

薬に関する説明

- 内服薬の確認
- 中止薬の説明 など

入院



稲田看護師 以前は入院時にベッド脇に看護師や管理栄養士、薬剤師がそれぞれのタイミングで病室で聴取するなど、慌ただししい雰囲気でした。しかし、入退院支援室による説明室が設置されたことで、患者さん一人一人にゆとりを持って丁寧に対応できるようになり、プライバシーに配慮した環境で、安心して対話ができるようになりました。

毎日およそ30人が利用
説明室の寄り添い看護

—入退院支援室の

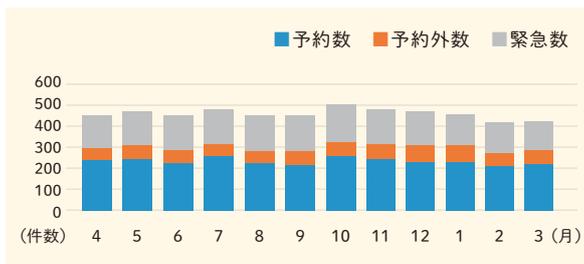
主な業務内容は？

高澤 看護師は、それぞれ異なる

業務を担当しています。例えば稲田看護師のように入院時支援を主に行うPFM専従看護師や、クリニカルパス（入院前から退院後までのスケジュールをまとめた診療計画表）専任看護師、病棟での退院支援を担う看護師が配置されています。また、地域医療連携室の業務を兼務する看護師もあり、入院時以外の支援にも関わっています。

稲田 説明室での受付対応に加え、患者さんに担当のケアマネジャーがいる場合は入院前に情報提供を依頼し、介護度の共有などを行います。認知症の症状が見られる場合などは、病棟と連携して入院前か

● 月毎の入退院支援室受け入れ件数（2024年度）



● 予定入院に対する入退院支援室利用率（2024年度）



ら支援体制を整えます。
また、左の表のように救急搬送された緊急患者さんの対応もあり、院内外との連携をサポートしながら、患者さんに寄り添い、さまざまな問題解決に取り組んでいます。

—多くの職種の方が
入退院支援に関わっていますね

高澤 病棟看護師との情報共有を綿密に行いながら、説明室での入院前説明では患者さんの気持ちに寄り添い、医療現場の働き方改革ツールであるICナビシステム

なども活用し、できる限り効率的に進めて、お待たせしないよう心がけています。

—1日に
どれくらいの方が
説明室を利用しますか？

高澤 外来で入院が決まると説明室への予約が自動的に入ります（上図参照）。利用者は1日およそ30名、1カ月で450〜500名に対応しています。患者さんと受け入れ病棟の双方がスムーズに、かつ安心して入院・退院できることが目標です。

介護保険証の持参をサプリの服用にも注意

——入退院支援室が設置され変化はありましたか？

高澤 管理栄養士が今年から入退院支援室に常駐するようになったことは大きな変化です。栄養士の介入で、患者さんのアレルギー有無の聴取が容易になりました。

治療を行うにあたり栄養状態の把握は重要です。栄養状態によりADL（日常生活動作）の低下につながってしまうため、栄養指導や病態に合わせた食事調整を行うことができます。早期退院につながるためにも、必要な栄養が摂れるようサポートしています。

——入院前の患者さんが気をつける点がありますか？

高澤 入院説明時には「お薬手帳」を必ずご持参ください。併せて普段から服用しているサプリメントや健康食品も必ずお知らせください。最近では「健康に良さそうだから」「もらったから」「な



何気なく飲んでいる

サプリメントに注意

んとなく続けている」など、特別な理由や計画がなくても自然にサプリメントを服用している方も多くいらつしやいます。一部の成分には、出血しやすくなったり、薬の効き方を変えたりする場合があります。手術や治療の安全性に影響します。無意識に続けているものも含め、飲んでいる全てを教えてください。ただけると助かります。

また、入院前説明の際には患者さんの日常生活についてもお伺いします。一対一での対話が難しい場合や、説明の理解に不安がある

場合は、ご家族などにも同席いただけるとう助かります。ご高齢の場合、地域医療との連携を行うために「介護保険証」のご提示、担当ケアマネジャーの所属事業所名やお名前をお知らせください。名刺を受け取っている場合は、ご持参いただけるとより確実です。

——患者さんとご家族、

そして地域の皆さまへメッセージをお願いします

高澤 入院前説明にはおおよそ1時間ほどお時間を頂戴していただきます。できる限り短時間で、分かりやすくお伝えすることを心がけています。治療費に関する心配事や、退院後の不安など、ご質問がありましたら何でもご相談ください。しっかりと多職種で共有します。

稲田 入院前に患者さんに来室してもらうことで、看護師はナースコールや日常



入退院支援室で、入院や治療の不安に寄り添います。

業務に左右されずに、患者さん一人一人とゆっくり対話しています。その結果、不安や悩みをより訴えやすい環境が整ったように思っています。一方的な説明ではなく、患者さんが安心して入院できるように、今後も双方のやり取りを大切にし、さらなる支援の充実と退院支援へつなげていきたいと考えています。

(聞き手 松永春香)

血液中にコレステロールや中性脂肪が増加した状態を「脂質異常症」と言います。脂質異常症を放っておくと動脈硬化が起こり、狭心症や心筋梗塞といった冠動脈疾患や、脳血管障害を引き起こすと言われています。食物繊維はLDLコレステロール（悪玉コレステロール）を下げる働きがあり、野菜・海藻・きのこ・豆・芋・こんにやくなどに多く含まれます。

栄養科監修／早福 歩(管理栄養士)・滝澤 妙子(調理師)
撮影／creaBox 岩淵恭孝

脂質異常症の方に れんこんしんじょ



材料〈2人分〉

えび…………… 40g
れんこん…………… 200g
しいたけ(乾)…………… 2g
ひじき(乾)…………… 2g
むき枝豆(冷凍)…………… 30g
★片栗粉…………… 大さじ1g
★塩…………… ひとつまみ
大根…………… 100g
ぽん酢…………… 小さじ2

ポイント

- 油で揚げずに「蒸す」ことで、エネルギーを抑え、「れんこん」でつくことで食物繊維も多く摂ることができます。
- すべてのれんこんをすりおろすのではなく、一部を粗みじんにすることで、食感も楽しめます。

つくり方

- 1 干しいたけとひじきは水で戻す
- 2 れんこんは3/4をすりおろし、残りは写真のように粗みじんに切り、ざるで水気を切っておく
- 3 えびと水で戻しいたけを粗みじんに切る
- 4 ①～③の材料と、枝豆と★をすべて混ぜ合わせて、丸めて10～15分ほど蒸す
- 5 大根をすりおろす
- 6 蒸し上がった④を器に盛り、⑤の大根おろしを添えて、ぽん酢をかけて召し上がれ♪



● 1食分の栄養価

エネルギー	134kcal
たんぱく質	8.4g
脂質	1.2g
食物繊維	4.4g
食塩	0.8g

クックパッドに公開しているレシピを台所でどうぞ



診察待ち状況をスマホにお知らせします

待合室の混雑緩和、院内感染リスクを軽減するために、無料通話・メールアプリの「LINE」で順番待ち呼び出しシステムを導入しています。

登録は初回利用時のみ。2回目以降は、再来機で受け付けをするだけで案内が届きます。

※呼び出しは診察予約のみ対象。 ※検査、リハビリ等は呼び出し対象外。



自分の診察順番が
近づくとLINEで
お知らせが届きます!

利用イメージ

① 「受付案内票」の右下の QRコードを読み取ります

※予めLINEアプリをインストールしておく必要があります。

② 当院のLINE公式アカウントを友だち追加します



LINEを利用する
を押す



許可する
を押す



友だち追加
を押す



許可する
を押す



※イラストはイメージ
となり実際とは異なる
場合がございます。

もしもの時のこと、自分らしく生きるために ～元気な今だからこそ一緒に考えてみませんか～

アドバンス・ケア・プランニング、別称 ^{エーシーピー} ACP（人生会議）が大切と聞けけれど、将来受けたい医療や、受けたくない医療について、どうやって考えれば良いか迷うことはありませんか？この機会に一緒に学び、考えてみましょう。

開催日時	10月4日（土）10時～11時30分（受付／9時30分開始）		
会場	黒崎市民会館 1階ホール（西区鳥原909-1）		
講演	「ACP だけじゃダメなんだ!」 済生会新潟病院 外科医師 坪野 俊広 先生		
対象と定員	地域住民の皆さん 先着 100 名		
申し込み方法／ 締切り	下記にお電話、または右の QR コードから 9/29（月）までにお申し込みください 新潟市在宅医療・介護連携ステーション西 ☎ 025(365)2437 新潟市在宅医療・介護連携ステーション西第二 ☎ 025(260)8108		





老朽化が進む救急車の更新を目指して
クラウドファンディング
目標額達成!



寄付金 31,101,287 円

病院救急車の更新を目的として、4月21日から7月18日まで実施したクラウドファンディングは、最終日に第3目標の3,000万円に到達し、成功裏に終わることができました。

申込総数は個人・団体合わせて延べ536件で、寄付額は31,101,287円となりました。

多くの方々からご寄付と共に心温まる応援メッセージをいただき、職員一同感激しています。ご支援くださいました、すべての皆様に、心より感謝申し上げます。

新しい救急車は、被災地での救急(DMAT)活動に使用するほか、新潟市の救急拠点病院として患者さんの転院搬送にも活用する予定です。今後、新車の調達準備に入りますが、納車された際には報道機関にも発表し、改めて市民・県民・医療機関の方々に広く当院の取り組みを知っていただきたいと考えています。

引き続き、当院の取り組みにご注目いただけますと幸いです。

● 本件に関するお問い合わせ先

口腔管理センターよりお知らせ

当センターは、当院加療中で主治医より依頼のあった患者さんを対象に口腔機能管理を行っています。外部医療機関からの紹介患者さんや、歯科診療のみの受診は受付しておりません。

口腔機能管理とは、全身麻酔による手術患者さん、がん化学療法を行う患者さん、骨吸収抑制薬や血管新生阻害薬による顎骨壊死のリスクがある患者さんなどを対象に、歯科医師・歯科衛生士が専門的な機材と技術を用いて歯垢（デンタルプラーク）や歯石を除去し、口腔内の細

菌数を減らすことにより、口腔内の細菌やバイオフィルムがもたらす肺炎や心内膜炎などの感染症や、口腔粘膜炎をはじめとする合併症を減らすことを目的に行います。必要に応じて、応急的に必要な抜歯や義歯の調整などを行うほか、口腔乾燥を和らげる粘膜の保湿処置なども行います。継続的な歯科治療が必要な場合は、状況に応じてかかりつけ歯科医や新潟県歯科医師会が認定する「がん医科歯科連携事業登録医」にご紹介しています。

公認心理師 高山先生より

「休息」について考える

前回（本誌3月号）、携帯電話を雪の中に落としてしまいました。幸いなことに無事見つけることができました。ご心配をおかけしました。この出来事をきっかけに、自分の余裕のなさに気がつき、そこで今回は「休息」について改めて考えてみたいと思います。

私たちは「頑張り方」は教わることが多いのに、「休み方」を教えられる機会はほとんどありません。慌ただしい日々を過ごす中で、「ほっとできる時間を持ちたい」と思いつつも、実際にその時間をつくるのはなかなか難しいと感じている方も多いのではないでしょう。

一般的に「休息」とは、心身の疲れを取り除くものだとされています。でも、いざ休もうと思っても、「何をすれば休息になるのか？」と戸惑うこともあります。そこで、日々の生活を振り返りながら、自分が「心地よい」と感じる瞬間を思い浮かべてみました。

朝に飲む一杯の緑茶。炊き立てのご飯を味わう時間。育てている観葉植物を眺めているとき。こうした何気ない習慣こそが、自分の心をそっと癒してくれていたのかもしれない。日常を見つめ直す中で、私にとっての「休息」とは、心地よさを味わうことで気持ちを整え、今の自分を見つめ直すきっかけになるものだと感じました。

「休息」は誰かから教わるものではなく、自分で体験し、味わいながら見つけていくもの。自分なりの休み方を大切にしていきたいと思えます。





私はキャンプが趣味で、自然の中でのおんびり過ごすのが大好きです。テントを立てたり、たき火を眺めながらご飯を食べたり、日常では味わえない体験ばかりでいい気分転換になります。

これまでは夫婦でキャンプに出かけることも多かったのですが、最近子供が生まれたので、もう少し大きくなってから家族みんなでキャンプを楽しめたらいいなと思っています。虫を探したり、川で遊んだり、そんな体験を通して子供にも自然の楽しさを感じてもらえたらうれしいです。最初はデイキャンプから少しずつ無理なくチャレンジしていこうと思います。

子供と一緒に楽しめるキャンプ、これからますますハマリそうです！



臨床工学室 臨床工学技士
小泉敦也さん



次号は

救急救命士
牧野 雄人さんにバトンタッチ

新人研修で一緒だった牧野君は、今年から新しく救急救命士として活躍する希少な存在です。グループ活動ではみんなを引っ張ってくれて、安心してついて行ける人でした。さらにユーモアも兼ね備えた面白い人柄で、常に場を明るくしてくれる存在です。今後の活躍がとても楽しみです！

看護部より

子ども病院見学会 夏休みレポート



小学4～6年生を対象にした子ども病院見学会が7月31日に開催されました。地域や職員の子ども達に医療の現場を知ってもらうことを目的に、「病院ってどんなところ？」のお話や「施設見学・医療体験ラリー」、「院長・看護部長への質問コーナー」の内容で実施しました。

普段の病院受診では目にしない薬剤部での調剤や、栄養科による栄養指導、検査科での肺機能検査、車椅子やベッドでの患者さん体験、病院の救急車に乗車、妊婦体験、手の洗い方体験など、さまざまな医療の体験をしてもらいました。

どの内容にも興味津々で、特に妊婦体験ではあまり

の重さにふらつく子どもも多く、思い出になったようです。

質問コーナーでは「院長の仕事の内容を教えてください！」という質問や「医師の人数が合計100人」と院長が伝えると「少ない！もっと居ると思った」と子ども達は驚いていました。

この日の見学会が、将来の医療者となるきっかけになってくれたら嬉しいです。 (A6 病棟師長 齊藤 和)





こんにちは。2025年4月26日より「青山みみ・はな・のどクリニックス」を開院しました。耳鼻咽喉科の鈴木祐輔と申します。このたび、32年間にわたり地域医療を支えてこられた佐藤弥生先生の「さとう耳鼻科クリニック」を承継し、28年ぶりに山形から新潟に戻ってまいりました。生まれ育った青山の地で診療できることを心より嬉しく思っています。

Medical Partners

医療連携の頼れるパートナー

登録医訪問

耳鼻咽喉科・アレルギー科

青山みみ・はな・

のどクリニックス

西区



私が特に力を入れているのはアレルギー性鼻炎・花粉症・副鼻腔炎・嗅覚障害などの鼻副鼻腔疾患です。特に花粉症は地域や個人によって症状や対策が異なるため、抗原回避・投薬治療・舌下免疫療法・抗体療法など最適な治療法をご提案いたします。また、当院ではファイバー Scope による内視鏡検査、CT検査、補聴器外来、めまい平衡検査、睡眠時無呼吸検査、超音波検査など、耳鼻咽喉科領域の疾患に幅広く対応できる最新設備を整えております。「みみ・はな・のど」でお困りの方はお気軽にご相談ください。どうぞよろしくお願いたします。



医師名	すずき ゆうすけ 鈴木 祐輔 先生						
住所	〒950-2002 新潟市西区青山5-10-25						
電話	025-267-8733						
診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
9:00~12:30 (受付9:00-12:00)	●	●	●	●	●	▲	—
14:30~18:00 (受付14:30-17:30)	●	●	—	●	●	—	—
▲ 受付 / 9:00 ~ 12:30 診療 / 9:00 ~ 13:00							

連携医療機関(登録医・病院)からのご紹介・ご予約について

当院の地域医療連携室までご連絡ください。

TEL.025-233-6182(直通) FAX.025-231-5763

※平日8:30 ~ 17:00 (土・日・祝日を除きます)

※患者さんからの予約はお取りしておりませんのでご了承ください。

※登録医訪問に掲載ご希望がございましたら、地域医療連携室までご連絡ください。

Workplace visit

院内で頑張るスタッフがざらり

職場訪問

病歴室

病歴室って何?と思った方はたくさんいらつしやると思います。患者さんと接する機会はありませんが、患者さんの情報と患者さんの情報とはとても近い距離にある部署、それが今回ご紹介する病歴室です。病歴室は、患者さんの診療などの記録を管理し、情報として保管している部署です。

●がん登録/義務化された法令に基づき、がん患者さんの情報を抽出・報告しています。その情報は国のがん対策・統計資料に活用されています。このように個人情報をもとに扱う業務を行っていますが、今後も情報管理を徹底しながら患者さんのためのよりよい病院づくりを心がけるよう努めてまいります。

(宇佐美昌康)





こころ 躍る 毎日を。



どなたさまでも!!

やっぱり火曜は
アピタがオトク!

火曜特売

朝から晩まで1日オトク!

毎週火曜日は生鮮食品を中心に、
お買い得商品盛りだくさん!
どうぞご家族お揃いの上、ご来店くださいませ

majicaアプリ・UCSカードmajica・
majica donpen card会員さま限定企画

圧倒的な破格プライス

マジ価格

majicaアプリ会員証、UCSカードmajica、
majica donpen cardのご提示でおトクにお買い物!
※majicaカード会員さまも対象になります。

アピタ新潟西店 新潟市西区小新5丁目7番21号 **お客様専用ナビダイヤル** ☎0570-009608

予防医療センターのご案内

「治療」から「予防」へ 予防医療の実現を目指します

健診内容

- 人間ドック
- 脳ドック
- 肺ドック
- 生活習慣病予防健診
- 特定健康診査
- 新潟市がん検診
- 個人健診
- 各種単独検査 等



B棟2階 予防医療センター

詳しい内容についてはこちらの
QRコードからホームページでご確認ください



☎ **025-233-6669** (直通)
予防医療センター受付時間 平日9:30 ~ 11:00
お電話でのお問い合わせ時間 平日9:00 ~ 16:30

地域医療支援病院 臨床研修病院 災害拠点病院 赤ちゃんにやさしい病院

社会福祉法人 恩賜財団 済生会 済生会新潟病院

〒950-1104 新潟県新潟市西区寺地 280-7
TEL.025-233-6161(代) FAX.025-233-8880



当院 HP よりバックナンバーもご覧いただけます。

こちらも
注目



済生会新潟病院の
エックス
ツイッター
X(旧 Twitter) 好評稼働中!

当院キャラクター
とびちゃん



医療連携機関マップ
<http://saiseikaidaini-renkei.jp>



病院ホームページ
<http://www.ngt.saiseikai.or.jp>

